

## JENESYS2015（派遣プログラム） （ブルネイ・ダルサラーム／高校生の記録）

### 1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、ブルネイへ日本の高校生ら 23 名が派遣され、日本の政治、社会、歴史、文化及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、3月7日から3月16日までの9泊10日の日程でプログラムを実施しました。

### 2. 参加校・人数

新潟県立村上中等教育学校 22 名（うち引率者 2 名）

### 3. 訪問地

ブルネイ・ダルサラーム国

### 4. 日程

- 3月7日（月） 出発前オリエンテーション
- 3月8日（火） 成田空港より出国、バンドルスリブガワン着
- 3月9日（水） 【表敬訪問】在ブルネイ日本国大使館  
【日系企業訪問】ブルネイ LNG 社～【油田車窓視察】セリア地区
- 3月10日（木） 【学校交流①】セングクロン シックスフォームセンター  
（高等学校/ 大学予備課程）  
【青少年交流】ブルネイの結婚式と衣装（ユースセンター）
- 3月11日（金） 【市内視察】マングローブ～水上集落の視察（資料館～住宅訪問）、  
ロイヤル・レガリア、モスク・王宮、商業施設の視察
- 3月12日（土） 【学校交流②】ピン ダツ セリ マハラジャ セカンダリースクール  
（上級中等学校）  
【表敬訪問】文化・青年・スポーツ省（青年局）
- 3月13日（日） 【ホームステイ】終日
- 3月14日（月） 【ワークショップ】報告会準備
- 3月15日（火） 【成果報告会】帰国後計画発表～歓送会  
バンドルスリブガワンより出国
- 3月16日（水） 成田空港到着

5. JENESYS2015 派遣プログラム記録写真 (派遣国：ブルネイ) 高校生



3/9 表敬訪問  
在ブルネイ日本国大使館



3/10 学校交流① 日本の魅力発信  
セングクロン シックスフォームセンター



3/10 青少年交流 (ユースセンター) /  
文化紹介・ブルネイの結婚式と衣装



3/12 学校交流② 日本の魅力発信  
ピン ダツ セリ マハラジャ メンティリ  
セカンダリースクール



3/13 ホームステイ・ホストファミリーと



3/15 成果報告会

## 6. 参加者の感想

### ◆ 新潟県立村上中等教育学校 高校生

ブルネイ在住の日本人の方々からブルネイと日本の関係について学びました。液化天然ガスが両国の重要な貿易品で、この関係は互いに大切であるということです。一方、ブルネイは国の収入が単調であるため、経済の多角化が必要であると大使館の方のお話でした。さらに、歴史や自然、宗教に関することも実体験をしながら学ぶことができました。現地の方に教わりながら民族衣装を着ました。また、イスラム教では何を大切にしているのか、モスクでは何をするのか、まさにブルネイ人になったような経験ができました。マングローブ林へ行き、ボルネオ島にしか生息しないテングザルにも出会うことができました。

ブルネイの人たちとの交流もありました。そこでは、教育、生活習慣、性格、考え方も日本とは違いました。日本が学ばなければいけないこともあることに気づきました。そして何より大きな学びは、彼らが日本についてよく知っていることでした。私はこの素晴らしいブルネイを、もっとより多くの日本人が知って訪れてほしいと思います。

今回の学びを日本のみでなく世界の人と共有できるように自分の中でもしっかり噛みしめたいです。

### ◆ 新潟県立村上中等教育学校 高校生

今回のブルネイ訪問は、私にとって貴重で充実したものとなりました。学校訪問では、同年代の学生と直接会話をし、実際に授業を受けることで、ブルネイの人々がとてもフレンドリーであることや授業内容がとても実用的で、生徒が自主的に率先して授業に取り組んでいることを知りました。また、ブルネイには至るところにモスクがあり、誰もが王様を尊敬しているという様子が強く感じられました。

帰国後に伝えたいことは、異文化理解の大切さです。最近はニュースなどの影響もあって、イスラム教について怖いというイメージを持つ人が多いと思います。実際、私も以前はそうでした。しかし、ブルネイから帰ってきた今、そのイメージはなくなりました。宗教は違っても、人の優しさや温かみは世界共通です。ブルネイの人々は日本人と同じくらい親切で、よりフレンドリーです。ですから、ただ人から聞いた情報を鵜呑みにして批判するのではなく、異文化を受け入れ共存していくべきだというのが、私が今一番、日本人に伝えたいことです。

### ◆ 新潟県立村上中等教育学校 高校生

私はブルネイを訪問し、様々なことを学びました。在ブルネイ大使館では、緊張しながらも、大使館員の方々と本プログラムや国際社会について話し合い、改めて、世界で通用する価値のある人間になりたいと考えるようになりました。

日系企業訪問では、日本にいると気づかない資源の大切さ、また日本では賄えない資源をカバーするブルネイの大切さを学びました。2つの学校訪問では、日本人はブルネイをよく知らないけど、ブルネイ人は日本のことを私よりよく知っていて驚いたとともに、世界を知るということは日本を知るといことだと痛感しました。

マングローブや水上集落訪問では、伝統や自然を守るブルネイの方々に親しみを感じました。ホームステイでは、日本人が近頃忘れがちな「家族」と過ごす時間の大切さに改めて気づきました。ブルネイの素晴らしさ、日本の素晴らしさ、特に宗教的なことで気づいたことを発信していきたいです。

7. 参加者の報告会での報告内容（帰国後の発信計画）

<p><b>About BRUNEI</b></p> <p>1, Nationality 2, Religion 3, Culture</p> 	<p>☞ <b>寛容的 Friendly</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 半袖の女性 Women who are wearing short sleeved clothes</li> <li>・ トンをつけていない女性 Women who aren't wearing burka</li> <li>・ 金曜日の12時~2時は お祈りに専念 Concentrating on praying during 12:00 2:00 every Friday</li> <li>・ 式典の前に必ず みんなでお祈り Praying before ceremonies</li> <li>・ 男性社会 Male-dominated</li> </ul> 
<p>ブルネイでの気づき：①国民性、②宗教、③伝統文化</p>	<p>発信したいこと：寛容的でフレンドリー、信仰心の篤い国民性</p>
<p><b>JAPAN</b></p>  <p>Rediscover the charms of Japan</p>	 <p><b>Introduce more good points, technologies of Japan to Brunei!</b></p>
<p>ブルネイでの気づき：日本の魅力の再発見（四季の美しさ、日本の技術など）</p>	<p>発信したいこと：日本の魅力（技術やアイデア）をブルネイの人々に更に紹介</p>
<p><b>BRUNEI JAPAN</b></p>  <p>Sharing ☞ <b>Strong Tie 絆</b></p>	<p><b>Action plan</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>give a fruitful presentation</u></li> <li>① <u>divide</u> the students in our grades into some groups</li> <li>② <u>make</u> them try some traditional Bruneian food/sweets             <ul style="list-style-type: none"> <li>➡ let people <u>close to us</u> know about Brunei</li> </ul> </li> <li>● <u>make a website</u></li> <li>➡ let people <u>in the world</u> know about Brunei</li> </ul>
<p>ブルネイでの気づき：両国の魅力を再発信 情報共有と発信→関係をさらに発展</p>	<p>アクションプラン：①成果報告会、②ウェブサイト作成で発信し、交流を継続、両国の相互理解を促進する</p>